



今年度の活動もあと少しになりました。新たなスタートを迎える子どもたちをあたたかく見守りたいと思います。

決して人生をあきらめない

～自分の力を信じて～

『ドラえもん』ののび太は、何をやってもいいことがない。テストは0点だし、犬にかまれるし、買ったばかりの漫画をジャイアンに取り上げられる。でも、あんなに何度もつまずきながら決して人生をあきらめないのが、のび太のいいところだ。年に数回は、「今の自分よりはましになりたい」と一念発起し、宿題をやろうと机に向かってママを驚かす。考えてみれば、芯は強いのかもしれない。（後略）

～令和6年（2024年）2月20日の朝日新聞・天声人語から抜粋～

私たちののび太像は、どうしようもないダメ少年と映っている。ダメ少年ののび太がずっと愛されているのはなぜなんだろう。ダメな自分に気づき、一念発起し、頑張ろうという未来を考えられる力を持っているから。自分がどうしようもない時には、「わーん！」と大きな声を上げて、周りに助けを呼ぶわざも持っているから。だから、ピンチの時には、しずかちゃんがあらわれたり、「しかたがないなあ！」とあきれ顔をしながらドラえもんが手助けしたりする。

～うんうん、そうだよな。のび太にはできないことが多くあるけれど、だれかを頼って一緒に解決したいという力を持っているんだ。～

子どもたちはSOSを出すことを情けないからとためらったり、迷惑かけるからやめようととどまることがある。どうしても自分だけでは解決できないことを、信頼できる人に伝えて、ともに考えていくことができるのは、その人が持っている力だと思うのだけれど、なかなかその気持ちになれない人たちがいる。だから、ことあるごとに私は「SOSを出せる力」が必要だと声を上げている。

2月1日に実施した「保護者全体懇談会」で、十年ほど前に通っていた創造活動経験者の声を聴く機会を持ちました。当事者の青年は、小学校でのいじめをきっかけに不登校になり、長い不登校期間少年文化館（現創造活動）に通いながら、高校復帰を機に自分の将来を考えていきました。

少年文化館の活動を通して生活リズムが整ったことや、一緒に活動する仲間やスタッフがいて楽しかったこと、私との面談の中で支えられ、自分を見つめることができ、今の自分があると語ってくれています。この語りは私にとっても大きな喜びでした。

年度末のこの時期、創造活動参加の児童生徒や、まだ、家から出にくい児童生徒が、次のステージに向けて少しでも動き出そうとしている姿が見受けられます。

自分をあきらめず何かしたい、そのような思いが子どもたちの中から湧き出てくる時期、そのSOSの声を聞き取って、次の手立てを共に考えられる私たちでいたいと思います。

～一步を踏み出そうとしている子どもたちの心と体が守られ、

新たなステージに立つことができるようにと心から願っています。～

創造活動アドバイザー

二学期終わりの会 ～12/6(金)～

二学期の終わりを締めくくる「終わりの会」を12月6日に実施。24名の子どもたちが2学期を振り返る作文を書いた後に、個別に面談をして困っていることや今後について話し合いました。面談を待っている間は、モルックをペットボトルで作りました。完成した後のモルック大会では、大いに盛り上がりました。

昼食の後は、ふれあい緑地でチーム対抗のおにごっこ、軽スポーツ、ピオトープ散策をしました。仲間と遊ぶことの面白さを味わうとともに、作文や面談で自分をみつめる時間となりました。

三学期始まりの会 ～1/7(火)～

1月7日の「始まりの会」には23名の子どもたちが参加し、今年最初の活動を行いました。

「書き初め」では、集中して「書くこと」を楽しもうと、自分と向き合う時間をもちました。何を書こうか考え込む姿や筆先を丁寧に整える姿は真剣そのもの。よい作品にしたいという気持ちが伝わってきました。「正月遊び」では、定番の福笑いやカルタ、館で恒例のUNO、大縄跳びをする子どもたち。思い思いの遊びを誘い合っていて楽しんでいます。今年度の活動もあとわずかですが、自分らしく過ごすこと、仲間と心を寄せ合って過ごすことを大切に活動してほしいと思います。

館外活動 中山寺(米谷高原)方面 山登り ～1/17(金)～

当日は、少し風が冷たく肌寒く感じましたが、晴天の下清々しい気持ちで登り始めました。

昼食時、あられが降り出すというアクシデントがありましたが、いつもと違う空の下で子どもたちは、元気にサッカーやカードゲームをして交流を楽しみました。

下山の際には、双眼鏡で大阪市内のスカイビルや明石海峡大橋などの景色を眺めました。小学3年生から中学3年生と学年の異なる子どもたち17名が、一人も途中離脱することなく最後まで頑張ったという達成感で山登りを終えました。子どもたちが互いに声を掛け合い、助け合う姿に一年間の成長を感じました。

第3回 保護者全体懇談会 ～2/1(土)～

元登館生で現在大学1年生の方から、当時の気持ちや、不登校を経験して学んだことなど、歩んでこれた今までのお話を伺いました。当初は、自分を否定する気持ちと大人への不信感でいっぱいだったけれど、創造活動(当時の少年文化館)でスタッフと話したり、活動を楽しんだり、仲間に喜んでもらえる体験を通して、少しずつ人を信用できるようになり、自分のことも肯定できるようになっていったとのことでした。そして自分の夢を見つけ、今、その夢に向かって歩んでおられる、その思いとしっかりとした足取りに、多くの保護者の方が励まされ、胸を打たれ、とても意義深い講演でした。

後半はグループに分かれ、日ごろの悩みや講演の感想を共有しました。



3月のお知らせ

6日(木) エールを送る準備の会 10時～12時半

ともに過ごした仲間やスタッフ、学生カウンセラーとゲームを楽しみ翌日の会の準備をします。そして、個々に面談をしながら次の居場所に向かっての総仕上げをします。

7日(金) エールを送る会 10時～12時

1年間の活動の節目の会です。スタッフ、指導員の先生、学生カウンセラー、保護者とともにいきます。

当日出席の児童生徒は9時30分登館です。

14日(金) 中学校及び義務教育学校卒業式

18日(火) 小学校卒業式

24日(月) 小・中学校及び義務教育学校修了式



来年度にむけて

今年度のプログラム活動は3月7日(金)まで、学生の訪問活動は3月末日までとなります。個人援助活動終了日は個々にお知らせします。

学年がかわる節目を次のステップへ踏み出すチャンスととらえ、創造活動での援助は年度ごとを区切りにしています。新年度、クラスや学校が変わってがんばってみたけれど、不安や心配な状態になってきたという場合は、あらためて児童生徒課創造活動係(06-4866-6310)にご連絡ください。